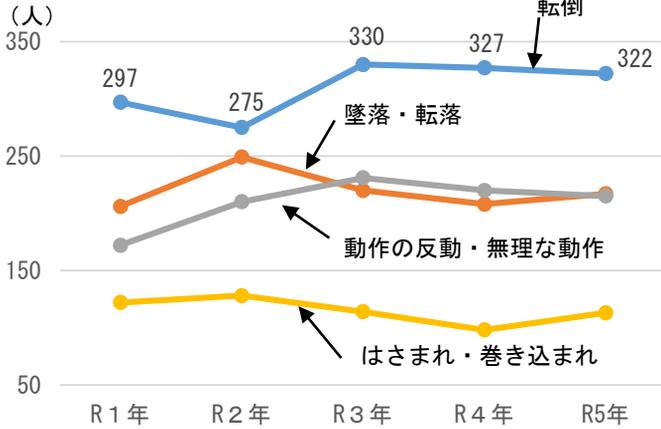


職場での転倒災害を防止しましょう！

休業4日以上労働災害のうち、転倒で被災した方が最も多い状況です。特に高齢者が転倒した場合は重症化する割合が高くなっています。

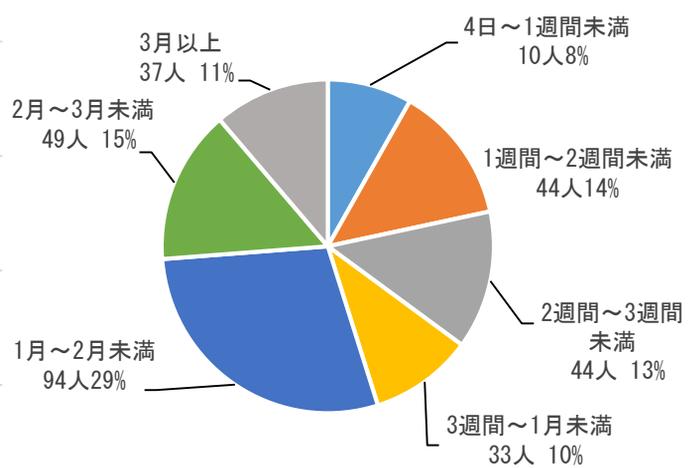
転倒災害が最も多く発生！

【事故の型別労働災害発生状況】



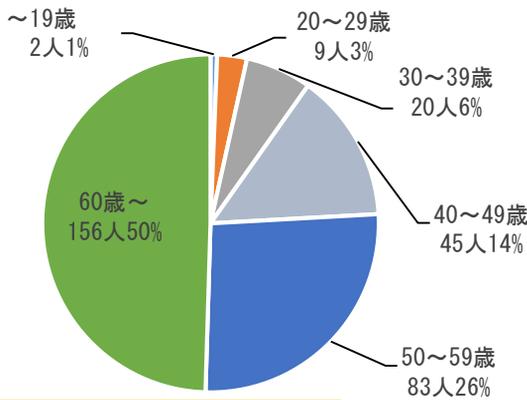
転倒災害は重症化しやすい！

【転倒災害の休業見込 令和5年】



50歳以上が3/4！

【転倒災害の被災者年齢構成 令和5年】



転倒災害の主な原因

▶ 転倒災害は、大きく3種類に分けられます。皆さまの職場にも似たような危険はありませんか？

滑り



<主な原因>

- ・床が滑りやすい素材である。
- ・床に水や油が飛散している。
- ・ビニールや紙など、滑りやすい異物が床に落ちている。

つまずき



<主な原因>

- ・床の凹凸や段差がある。
- ・床に荷物や商品などが放置されている。

踏み外し



<主な原因>

- ・大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態で作業している。

① 作業場所の整理整頓

② 作業場所の清掃

③ 毎日の運動



転倒予防・腰痛予防の取組資料

転倒災害対策リーフレット動画等

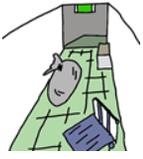


身体機能チェック(口コチェック)



転倒災害防止対策のポイント

▶ 転倒災害を防止することで、安心して作業が行えるようになり、作業効率も上がります。できるところから少しずつ取り組んでいきましょう。

4S (整理・整頓・清掃・清潔)	転倒しにくい作業方法 「あせらない 急ぐときほど 落ち着いて」	その他の対策
<ul style="list-style-type: none"> 歩行場所に物を放置しない 床面の汚れ（水、油、粉など）を取り除く 床面の凹凸、段差などの解消 	<ul style="list-style-type: none"> 時間に余裕を持って行動 滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行 足元が見えにくい状態で作業しない 	<ul style="list-style-type: none"> 作業に適した靴の着用 職場の危険マップの作成による危険情報の共有 転倒危険場所にステッカーなどで注意喚起 

＜転倒しないための靴選びのポイント＞

- サイズ** 小さすぎても大きすぎても踏ん張りがきかずバランスを崩しやすくなります。
 - 屈曲性** 屈曲性が悪いとすり足になりやすく、つまづきの原因になります。
 - 重量** 重すぎると足が上がりにくくなり、つまづきの原因になります。
 - 重量バランス（前後）** つま先方向に重量が偏っていると、歩行時につま先が下がり、つまづきの原因になります。
 - つま先部の高さ** つま先の高さが低いと、ちょっとした段差にも、つまづきやすくなります。
 - 靴底と床の耐滑性のバランス** 作業場所や内容に合った耐滑性であることが重要です。例えば、滑りにくい床に滑りにくい靴底では摩擦が強くなりすぎてつまづきの原因になります。
- 

厚生労働省では、SAFEコンソーシアムを設立し、転倒・腰痛等の労働災害の増加に歯止めをかけるべく、企業・団体等で実施されている安全活動の取組み事例、労働災害防止シンポジウムの開催、優良事例の表彰等を公開していますのでSAFEコンソーシアムへの加盟をご検討ください。

※SAFEコンソーシアムとは、従業員の幸せのための安全アクション(Safer Action For Employees)を共通の目的とした組織(コンソーシアム)。



従業員の幸せのための安全アクション SAFE コンソーシアムポータルサイト



SAFEとは？
コンソーシアム
シンポジウム
アワード
現場視察
転倒予防川柳
動画



コンソーシアムについて
知りたい・加盟したい方へ

▶ 加盟メンバー検索

2/9
結果発表

SAFEアワード

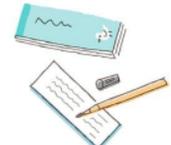
受賞事例はこちら ▶



転倒予防川柳

2023年度の結果はこちら

▶ 詳細はこちら





SAFE コンソーシアム
ポータルサイト
<https://safeconsortium.mhlw.go.jp/>



加盟はこちらから
<https://safeconsortium.mhlw.go.jp/sc/consortium>



SAFE コンソーシアム
X @safe_mhlw
https://twitter.com/safe_mhlw

